

豊かで充実した老後を 漁業者年金

ひとりば万人のために、万人はひとりのために

平成2年度 漁船保険事務 研修会開く

兵庫県内海漁船保険組合では、去る六月十九、二十日の両日、神戸市北区有馬町において平成2年度漁船保険事務研修会を開催いたしました。

当日、県からは、本下水産課副課長をはじめ担当係長、関係市町系統各団体代表者のご臨席に合わせ、管内六十一漁協の漁協長並びに漁船保険担当役員、更に講師として、漁船保険中央会から山内副会長、安西指導部次長、大村P・I保険業務課長代理の三氏を招き、総勢四百四十名が参集いたしました。

研修会に先立ち、優

兵庫県内海漁船保険組合では、去る六月十九、二十日の両日、神戸市北区有馬町において平成2年度漁船保険事務研修会を開催いたしました。

当日、県からは、本下水産課副課長をはじめ担当係長、関係市町系統各団体代表者のご臨席に合わせ、管内六十一漁協の漁協長並びに漁船保険担当役員、更に講師として、漁船保険中央会から山内副会長、安西指導部次長、大村P・I保険業務課長代理の三氏を招き、総勢四百四十名が参集いたしました。

研修会に先立ち、優

良役職員等賞状授与伝達式が行われ、次の方々に賞状及び副賞を授与いたしました。

(優良役員員の部)
早川 正一(伊保)
簡井 宗夫(篠原町)
(無事故漁船所有者の部)
住谷 武男 明石丸
(明石丸浦)
西田 三郎 第十二
豊漁丸(東一見)
漁船保険中央会長表彰(無事故漁船所有者の部)
丸(相生)
前田 一實 第三共
進丸(坂越)
岡本 吉博 八幡丸
(浅野浦)
堀 永昌 春日丸
(阿那賀) 以上

この後、山内副会長の挨拶と講演、水産課指示事項に続き、浅井専務より、平成元年度

叙勲 鯛 正次郎氏

洲本漁業協同組合長理事
兵庫県内海漁船保険組合長理事



勲五等端宝章受章 祝賀会開催す

今春、勲五等端宝章受章の栄に浴された。来賓者のお顔ぶれは、目原俊良知事、賀会が、去る六月二十五日、ホテルシュレナ「華雅敬の間」におははじめ、県議会、行政代表し、中川三郎内海漁船保険副組合長の挨拶から始まり、引き続き、目原知事、原衆議院議員、山内静夫漁船保険中央会副会長、谷 安司洲本市長、酒部龍三県漁連会長らが祝辞を述べた後、堀 寛後路水交会副会長より受章者への記念品贈呈、そして受章者の謝辞等、厳粛の内

にも滞りなく執り行われ、祝宴に入つて受章者ご夫妻は出席者の方々とのお歓談等でお酒のうちに大団円を閉じ、浅井政治内海漁船専務の閉宴挨拶をもって無事祝賀会の閉会となりました。

叙勲の経緯
氏は家業である漁業に従事のかたわら、昭和三十一年一月、周囲の絶大な支持を受け、組合長理事に就任。この間、生来の実行力と統率力を生かし、漁業経営の合理化に努め、地域の活性化に努め、沿岸漁業の振興、発展、さらには新時代の対応に際しては、円満な識見

と強固なる指導力をもって尽力されました。また氏は、県内海漁保組合長を始め、漁業系統団体の要職にあつて、その豊かな経験と卓越した英知をもつて、県下水産業界をリードされてきた功績は衆目の一致するところでありました。

氏の温厚にして人間愛あふれる人柄は、漁業関係者からもより地域住民の信頼を集め、水産関係指導者の範として高く評価され、このたびの叙勲となりました。

氏の今後ますますのご活躍をお祈りいたします。

△主催団体
兵庫県内海漁船保険組合
淡路水交会
兵庫県大阪湾漁業振興協会
△協賛団体
洲本漁業協同組合
東浦水交会



事業概況報告並びに事業計画について詳細な説明と、付保率アップ、適正評価の見直し等、漁業者の有利な立場で、事業の推進に当たりたく、皆様の協力をお願いしたい旨を要請。その他、中央会大村課長代理から「乗客損

第15回 兵庫県漁民物故者合同供養祭 ～在りし日の英姿を偲び～ 191柱の尊霊を新たに合祀

第十五回兵庫県漁民物故者合同供養祭は、本年六月十三日、晴天に恵まれた聖地高野山において、漁業関係者ら約一九〇名が参列する中で、おごそかに執り行われました。

例年七月二十一日に行われる合同供養祭ですが、青森県で開催される一全国豊かな海づくりに大会)の日程と重なることにより、急きよこの日に決定されました。

初めに、遺族代表の手により、本年度物故者一九一柱の名簿を奉納しました。

次に、主催者を代表し、酒部県漁連会長より、「本県が今日、全国有数の水産県に発展したことは尊霊のご努力の賜物であり、あらためてご活躍を想いおこし輝かしい業績に深甚なる敬意を表するものであります。

今、我が国漁業は国際的にも国内的にも極めて多事多難なものが行われています。

最後に、読経の流れから始まり、一般参拝者まで焼香が行われました。

兵庫県漁連主催の当供養祭は、本年度で十五回をむかえ、これまで合祀された尊霊は七、六九〇柱となり、心からご冥福をお祈りいたします。

と強固なる指導力をもって尽力されました。また氏は、県内海漁保組合長を始め、漁業系統団体の要職にあつて、その豊かな経験と卓越した英知をもつて、県下水産業界をリードされてきた功績は衆目の一致するところでありました。



赤潮テレホン情報
いつも新しい情報を発信しています。ご利用ください。
078-942-1534

第14回兵庫県漁業連通常総会開催

新会長に沖 正範氏を選任

漁業青年のつどい・漁業士認定証授与式も開催

去る六月十六日(土) いただきたい」と期待 兵庫県立水産会館四階 大会議室において平成 大会議室において平成 二年度(第十四回)兵 庫県漁業連通常総会が、 約九十名の出席のもと 盛大に開催されました。

まず、河村県漁業連 通常総会会長、高橋 会長の挨拶の後、高橋 県水産課長、ならびに 系統団体を代表して、 酒部県漁業連会長より祝 辞がありました。

祝辞では、「県下漁 業の将来を担う青壮年 に対し、部員一人一人 が課せられた使命を 自覚し、今後とも活発 な漁協運動に邁進して



第14回兵庫県漁業連通常総会開催の様子

また、議長選出の後、 議案審議に移り、提出 された四議案の全てが 満場一致で 可決・承認 されました。

なお、本 年度は河村 会長を始め、 六名の役員 が任期途中 で退任され た事に伴い、 次の通り七 名の新役員 が補欠選任

- 会長 沖 正範 (前副会長)
- 副会長 星屋 国弘 (前理事)
- (補欠選任) 役員新規 (浦次選任)
- 理事 理事 理事
- 理事 理事 理事
- 理事 理事 理事

理事 大章 新一 (森)

濱口 佳久 (五色町)

石塚 裕司 (津路市)

監事 吉田 彰夫 (一宮町)

また、この役職の異 動に伴い、退任された 河村前会長に対し、青 壮年部一同から感謝の 意を表し、感謝状と記 念品の贈呈が行われた 後、沖新会長より就任 の挨拶がなされ、通常 総会は無事終了いたし ました。

午後、部として、兵 庫県主催による漁業士 認定証授与式が行われ 本年度は指導漁業士五 名、青年漁業士十九名 が認定され、それぞれ が認定証が授与されま



意見発表の質問に回答 (吉田指導漁業士)

引き続き行われた 「漁業青年のつどい」で は、漁村青年としての 立場から当面する問題 に取り組んで行くため に、各地区の 代表者か ら技術交流 報告、なら びに各地区 代表として 津路・播磨 地区より二 題の意見発 表が次の内 容の通り行 われました。

午後、部として、兵 庫県主催による漁業士 認定証授与式が行われ 本年度は指導漁業士五 名、青年漁業士十九名 が認定され、それぞれ が認定証が授与されま

一、クルマエビの中間 育成技術について 姫路市連青壮年部 (山南 隆)

二、漁業経営とリンジー (福本 孝)

意見発表 一、ガザミふやそう会 の活動をふりかえつ て

三、活イカの漁獲技術 について 香住町漁協青壮年部 (相田 永次)

「瀬越謙之」

二、原点にもったパッ ク・フィッシュ運動 を試みる 坊勢漁協水産研究会 (森 政道)

なお、意見発表では 発表者の発表を基に、 兵庫県水産課の岡島専 技を座長として活発な 意見交換が持たれ、今 後の漁業の進むべき一 方向が示唆されました。

最後に大会決議を採 択し、今後青壮年部が 取り組んで行かなけれ ばならない目標を確認 し合ひ、「漁業青年の つどい」は盛會裡に終 了しました。

海区漁業調整 委員会だより

六月二十二日 兵庫県瀬戸内海海区 漁業調整委員会委員協 議会を県中央労働セン ターで開催

一、全国海区漁業調整 委員会連合会総会及び 海区漁業調整委員会四 十周年記念大会の報告

六月八日東京都農林 年金会館で開催された 平成二年度の通常総会 及び全漁調連四十周年 記念大会の概要につい て報告がなされました。

二、さらさらし網漁業 について(報告)

本年度播磨灘におけ るさらさらし網漁業の 採集海域をめぐる香川 県漁業者との紛争につ いて県水産課から報告

があり、隣接府県の主 張海面について意見交 換がなされました。

六月十九日 但馬海区漁業調整委 員会委員協議会を但馬 水産事務所会議室で開 催

一、委員会指示発動後 の操業状況について 委員より各地区の操業 状況が報告され、意見 交換が行われました。

二、全国海区漁業調整 委員会連合会通常総会 について

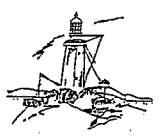
六月八日東京都開 催された、通常総会並 びに海区漁業調整委員 会四十周年記念大会の 概要について報告がな されました。なお、四

十周年記念大会におい て、当海区では北村委 員、森田委員が水産庁 長官感謝状を受賞され ました。

三、その他

(一) ホタルイカ資源 利用率試算のころみ について

若狭漁場のホタル イカについて、調査船 「たじま」に搭載して いる計量魚探による調 査から資源量を推定し、 その漁獲量から資源利 用率を試算した内容に ついて、但馬水産事務 所試験研究室から説明 がなされ、意見交換が 行われました。



但馬魚便り 14

〈大西洋産の標識カレイ〉

五月初めに、香 住町内のある水産加工 業者より当試験研究室 に標識カレイが届けら れました。このように 加工場からの標識魚報 告も結構いたいただき、有 り難いことと思ってお ります。

今回特筆しようとする のは、このよな田 舎の研究機関に遠く外 国の標識魚(輸入魚に 付いていた)が持ち込 まれたということです。

そこで先ず、輸入ルー トの調査をすることと しました。

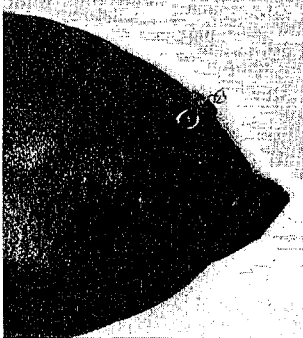
昨年十一月に韓国の 水産会社「三元漁業」

より「大阪魚市」に搬 入されたもので、地元 加工業者「上治水産」 が二月末に仕入れたマ コガレイ(五尾入箱のマ コガレイ)に発見されたこ とが分かりました。

このことが分かったと 「大阪魚市」によると 「三元漁業」は昨年十 月頃北大西洋ニューファ ンドランド沖で操業し ていたとのことでした。

また「上治水産」によ れば同じ箱の中にタラ バガニやズワイガニの 稚ガニが夾雑物として 入っていたということ でした。

方向は大体見当 がついたものの、この 先はさっぱり分かりま



標識輸入カレイ(マコガレイの仲間) (全長261mm、体長221mm、体重184.2g)

せんでした。そこで国 際的なことでもあるの で、この後のことは遠 洋水産研究所に標識を 送り調査を依頼しまし た。さすがに頼の機関 だけのことがあってすぐ 探しあててくれました。

カナダ、ニューファン ドランド島のセントジョ ーンズ所在の水産研究 所が昨年九月二日に同 島東南の二〇〇m水深 の所(バンク)に放流

したものであることが 分かりました。

漁獲日時、場所は特 定できませんでしたが 魚体の大きさ等につい ての報告をしておきま した。

後日同研究所よりお 礼状と二〇ドル(カナ ダ)の小切手が送られ てきました。上治さん によると地元銀行で は換金するに手続きが ややこしいというので

兵庫県の3か月予報

大阪管区気象台発表

梅雨明けは平年並みでしょう。盛夏期の気 温は高い見込みです。

この期間、近畿地方に影響する台風は1~ 2個の見込みです。

7月 梅雨前線の活動が活発で一時大雨の恐 れがあります。平年並みに梅雨明けし た後、暑い晴れの日が多いでしょう。

8月 前半は暑い晴れの日が多い見込みです。 後半は大気の状態が不安定で、にわか 雨や雷雨の日が多いでしょう。

9月 始めは残暑がありますが、秋の訪れは 順調でしょう。後半は朝晩肌寒い日がある見込みです。

※梅雨明けの平年日 7月17日 平年並：平年日±3日以内。

でこのまま記念に持っ ていることでした。

さて、魚は一夜干し に加工し、出荷されて いるようですが、魚種名はマ コガレイの仲間です。 (Ukawai Flourider (Ukawai Flourider (Ukawai Flourider)) ということですが、近年、韓国など条約に 加盟していない国の漁 船が違法操業を行って いるということと問題 になっていくようです。

この水域は北西大西 洋漁業条約機構(日本 も加盟)によって管理 されていますが、近年、韓国など条約に 加盟していない国の漁 船が違法操業を行って いるということと問題 になっていくようです。

今回一つの問題が できかかって国際協力が できたことをお伝えし ました。(但馬水産事 務所 試験研究室)

天然石鹼普及 キャンペーン

~淡路地区で実施~

の普及キャ ンペーンを 淡路地区に おいて実施 しました。こ れは、合 成洗剤が人 体及び漁場 環境等に悪 影響をおよ ぼしている 現状をふま えて、一般住 民に対する 無公害石鹼(天然石鹼) の普及啓蒙の前提とし て、まず、漁協婦人部 員が率先してこれの使 用を図るための内部啓 蒙を主眼においたもの で、連日、婦人部員多 数の出迎えの中、県漁 連・県漁協連通会長の 陣頭指揮のもと、各漁 協を巡回したものです。

去る七月九日(十一 日)の三日間、天然石鹼

地球環境問題が世界 的に取りざたされてい る中、去る六月十六日 のサンケイ新聞に「生 きた化石・カプトガニ 絶滅の危機」奇形率が 五十二%に…幼生は 殆どいない…こんな見 出しの記事が出ていま した。国の天然記念物 で、保護繁殖地に指定 されている岡山・笠岡 湾に生息するカプトガ ニの現状である。

カプトガニはご承知 の通り「生きた化石」 と呼ばれ、同記事の最 後は、「二億年も生き たカプトガニの危機は 地球環境の最大のピン チを教えてくれている のかもしれない」と結 んであった。今でもこ の記事を持っているが、 目を通すたびに肌寒い 感を覚えるものである。

環境問題を考える

本年度のノリ養殖の経過と問題点

あわただしかった平成元年度ノリ漁期も昨年度と同じく、生産枚数が全国第一位、生産金額で佐賀県について第二位という記録を残して終了しました。しかし平均単価は昨年度に引続き全国平均を下回っており、決して素直に喜べる状態にあるとは言えません。

来漁期もはや三ヶ月先に迫っており、生産者の皆様もさまざまな対策を練っておられることと思います。ここに本年度の漁期を振り返りながら、来漁期に向けて残された問題点を一緒に考えていきたいと思います。

東播地区は二見地区で十一月二十日から、明石地区で十一月二十日から、神戸地区で十一月三十日から張り込みを開始された。西播地区では十一月十七日から、西播地区では十一月二十一日から張り込みを開始された。南浦地区では十一月二十五日から段階的に本張りを開始した。また、鹿ノ瀬漁場では十一月二十六日に本張りが開始された。十一月には水温が平年より約1℃高かった。

次に、昨年度および本年度の共販結果と昭和五十三～五十七年度の平均を月別に比較したものを図四に示す。

生産枚数は十四億七千万枚におよび、昭和六十三年、五十八年度に次ぐ史上第三位の豊作であった。

しかし、単価は昨年度を上回ったものの十・五七円と低い水準に終わった。このため生産金額は一五五億円にとどまり、昨年引続き豊作貧乏の漁期となった。

品にはスミノリが多発した。この症状は十二月中旬から東播地区の西部でみられ始め、十二月二十日頃には明石地区、鹿ノ瀬、淡路、西播地区の漁場全域に拡大し、やや遅れて神戸及び東播地区でも認められ、症状の程度は地区別にみると明石、鹿ノ瀬、西播地区の順で、時期別みると十二月二十日から二十五日ごろに最も進行した。また症状はその後一時的に小康状態を見せたが、一月月上旬までサレ症状が発生し、製

品にはスミノリが多発した。この症状は十二月中旬から東播地区の西部でみられ始め、十二月二十日頃には明石地区、鹿ノ瀬、淡路、西播地区の漁場全域に拡大し、やや遅れて神戸及び東播地区でも認められ、症状の程度は地区別にみると明石、鹿ノ瀬、西播地区の順で、時期別みると十二月二十日から二十五日ごろに最も進行した。また症状はその後一時的に小康状態を見せたが、一月月上旬までサレ症状が発生し、製

品にはスミノリが多発した。この症状は十二月中旬から東播地区の西部でみられ始め、十二月二十日頃には明石地区、鹿ノ瀬、淡路、西播地区の漁場全域に拡大し、やや遅れて神戸及び東播地区でも認められ、症状の程度は地区別にみると明石、鹿ノ瀬、西播地区の順で、時期別みると十二月二十日から二十五日ごろに最も進行した。また症状はその後一時的に小康状態を見せたが、一月月上旬までサレ症状が発生し、製

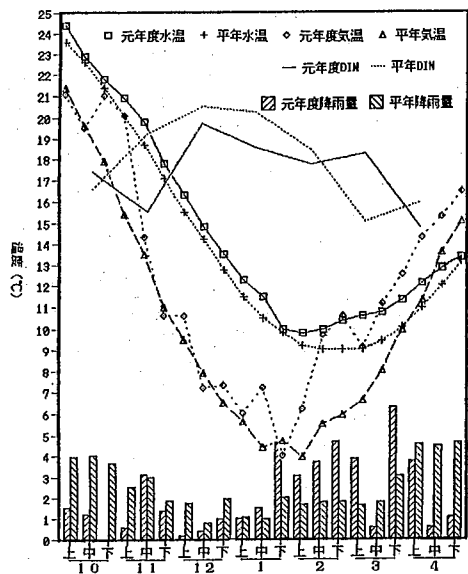


図1 平成元年度漁期の旬別気象・海象の変化

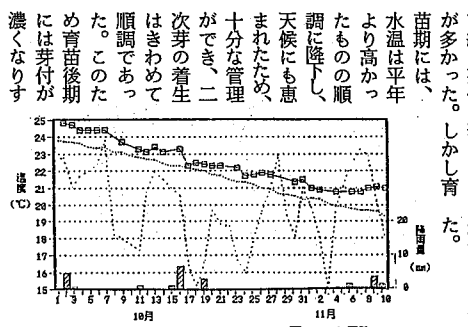


図2 育苗期中の気温、水温、降雨量の日変化および平年比較

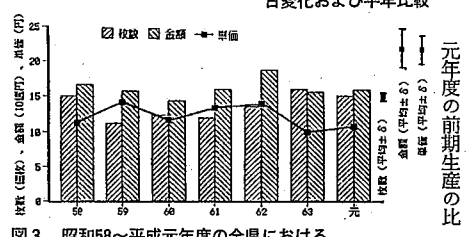


図3 昭和58～平成元年度の全県における年度別共販枚数、金額、単価の比較

ため、ほとんどの地区の協議会で張り込みの日について慎重な協議がなされ、例年と比べて五日から十日程度張り込み日が延期された。本張り後の第一回摘採までは生長は遅かったものの製品の色調、光沢は良好であった。しかし、小穴や破れの出るものも多かった。第二回から第三回摘採時には、各地区とも急速な生長を見せたが、死細胞や異常細胞が増える、いわゆるシロクサレ症状が発生し、製

表1 昭和53年度から平成元年度までのノリ養殖動向の経過

年度	生産枚数	単価	一人当たり枚数	持ち網数	持ち網比率	生産枚数	単価	持ち網比率
53	93	88	75	87	46	54	38	112
54	99	100	101	101	50	50	110	110
55	103	105	102	101	52	48	102	96
56	105	106	101	107	60	40	101	95
57	101	101	100	105	65	38	89	87
58	98	98	100	109	60	40	140	142
59	95	98	104	98	63	37	105	107
60	92	96	104	91	75	25	114	120
61	88	88	110	87	65	35	111	115
62	85	100	121	86	78	21	127	125
63	82	98	119	78	76	24	144	145
元	79	97	122	78	79	21	135	140

注) 5年間(53～57年度)の平均を100とする指数を示す。ただし、持ち網比率は各年度の持ち網数に対する比率。

気象・海況の経過
本年度の養殖期間中は平年よりかなり多いの環境変化を図一に示す。

水温は漁期を通して平年より高目であり、十月から一月にかけては約0.5℃、二月から三月にかけては約1.5℃平年より高かった。

降雨量は十月から十一月までは平年より少ない傾向にあったが、一月から二月にかけては平年よりかなり多いの環境変化を図一に示す。

西播地区は十月一日から段階的に野外採苗のおよび人工採苗網の張り込みを開始し、家島・坊勢漁場は例年通り十月月中旬から人工採苗網の張り込みを行った。東播地区では十月四日から張り込みを開始し、日本海採苗網も十月八日までに入植に移植された。

各漁場・東播地区の野

外採苗は、一部の漁場で十月一日から開始されたが、本格的な採苗網の張り込みは十月七日前後から行われた。西播地区では野外採苗は十月三日から、人工採苗網の張り込みは十月五日から開始された。

南浦地区は十月十一日から人工採苗網の張り込みを開始した。採苗時期には胞子の放出にあまり大きなビークがなかったため、採苗網も芽付の薄いものが多かった。しかし育苗期には、水温は平年より高かったものの順調に降下し、天候にも恵まれたため、十分な管理ができ、二次芽の着生はきわめて順調であった。このため育苗後期には芽付が濃くなりす

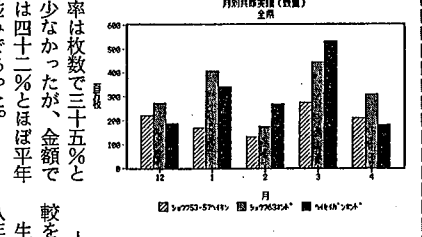
ぎる網が多くなり、生長の早い網で十月二十日すぎから入庫が開始された。十月に入庫が多かったが、十一月月上旬には水温低下が鈍り、漁場に残った網は、異型芽や死細胞斑などの芽イタミ症状がみられるものが多かった。

本張り状況
本張りは、西播地区では十一月一日から段階的に開始され、家島・坊勢漁場では十一月十日頃から開始された。

次に、昨年度および本年度の共販結果と昭和五十三～五十七年度の平均を月別に比較したものを図四に示す。

生産枚数は十四億七千万枚におよび、昭和六十三年、五十八年度に次ぐ史上第三位の豊作であった。

しかし、単価は昨年度を上回ったものの十・五七円と低い水準に終わった。このため生産金額は一五五億円にとどまり、昨年引続き豊作貧乏の漁期となった。



品にはスミノリが多発した。この症状は十二月中旬から東播地区の西部でみられ始め、十二月二十日頃には明石地区、鹿ノ瀬、淡路、西播地区の漁場全域に拡大し、やや遅れて神戸及び東播地区でも認められ、症状の程度は地区別にみると明石、鹿ノ瀬、西播地区の順で、時期別みると十二月二十日から二十五日ごろに最も進行した。また症状はその後一時的に小康状態を見せたが、一月月上旬までサレ症状が発生し、製

図4 昭和63年度、平成元年度漁期における月別生産結果および昭和53～57年度平均との対比

本年度の問題点
 以上、本年度の養殖経過をかいついで述べたが、それぞれ時期においてさまざまな問題点が残されています。まず採育苗については、本年度は比較的に入庫が十一月まで遅れた網は、水温の横ばいなどの条件もあり、早期入庫できた網と比べると芽イタミ症状が顕著にみられました。健苗育成のためには対策を十分に考える必要があります。

本張り前期では、全国的に発生したアカガサレ病が、本県ではほとんどみられず順調なスタートを切ることができました。これは各地で慎重な協議が行われ遅らぬ日を例年より進められたこと、また網管理も十分に行われたことによるものと考えられます。しかし十二月後半からは、シログサレ症状が広範囲に発生し品質低下を招きました。シログサレ症状は昨年度も大規模に発生しており、本県のノリ養殖にとって憂慮すべき病害です。

本年度の発生状況をみると、発生時期には水温降下の鈍化、小潮風波の低下という病害の起こり易い環境条件に、伸ばしすぎという悪条件が重なって増加による網管理不足を引き起こすことも考えられます。漁場における適正張り込みと、発生時期に合わせた最近の養殖動向として、一人当りの柵数の増加が目立ちます。全国的にノリ生産をみますと、秋芽生産期各地で大規模な病害発生がみられ、最終的には百億枚近くの生産がされ

漁海況情報

平成二年六月

海況

明石海峡周辺 旬平均水温は上旬十七・九℃、中旬十九・二℃を示しており、平年に較べて上旬は〇・三℃低目、中旬は〇・二℃低目である。

大阪湾西部・紀伊水道北部 六月十四日の調査結果によると大阪湾の表層水温は十八・七〜二〇・二℃の範囲にあり、ほぼ平年並みである。また紀伊水道北部の表層水温は十八・七〜二一・二℃の範囲にあり、ほぼ平年並みである。

播磨灘 六月四・五日に実施した調査の結果によると、表層水温は十八・〇℃〜二〇・七℃の範囲にあり、平年に較べて〇・五〜一・〇℃高目である。

小型底曳網 明石海峡周辺を主漁場とする小型底曳網(ちん漕)では、サルエビ、メイダガレイ、アナゴ、マダイなどが主に漁獲されている。また板曳網ではアナゴ、エビ、マダコ、マダイなどが主に漁獲されている。小型底曳網の漁獲量は全

一般的にこれといった特徴はない。

一本釣・曳網釣 明石海峡周辺漁場では、春のサワラ漁も六月上旬にはほぼ終了し、最近では主に、スズキ、タチウオ、マダイなどが漁獲されている。例年この時期には、漁獲量は、まだほとんどない。また紀伊水道北部漁場では、先月に引き続きマジジの漁獲が安定して続いている。

船曳網 五月以降のシラス漁はほとんど休漁に近い状態であったが、大阪湾、紀伊水道

くみながら、環境条件が悪くなる前に短めに摘採するのがお薦めの対策であると考えられます。同時に減柵や一斉撤去を行えるような体制づくりも重要であると思われま

後期生産では最近、病害発生による大きな生産被害は無く大ききまされたが、製品の品質の統一や向上の面から、地区、漁場単位で一斉張り替えが行えるよう検討する必要があります。

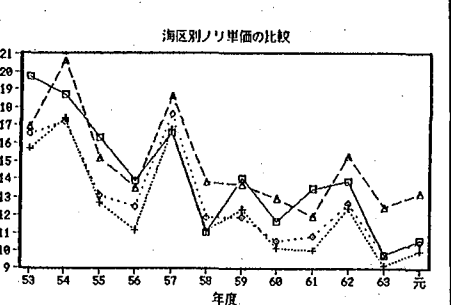
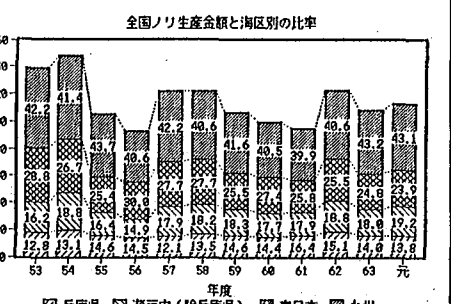
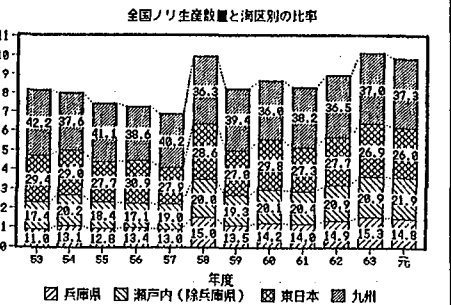


図5 年度別の全国、海区および兵庫県におけるノリ養殖生産比率の推移

税のしるべ

所得税第一期分の納期限は7月31日
お忘れなく!

七月は、所得税の予定納税第一期分を納税する月です。今年初めて予定納税の通知を受けた人の中には、予定納税とはどのようなものなのかよく分からないという方もおられるでしょう。そこで、予定納税のあらましについてご説明しましょう。

予定納税の仕組み
 予定納税とは、前年の実績に基づき、前年分のと十一月(第二期)納税額から通知された同様の所得が継続的に発生するであろうことを予定して、予定納税額が十五万円未満である場合には、その

ました(図五)。生産過剰が言われる中で、本県では昭和六十一年度から漁期縮短による生産調整を実施してきましたが、生産枚数は以前に比べて減少する傾向はみられておりま

たが、これらを解決していくには、生産者の皆様の英断と、その力をノリ養殖安定対策協議会に結果することが重要であると思います。来る平成二年度漁期に向けて「兵庫ノリ」

退職金と税
 退職金には、所得税と住民税がかかります。通常、退職金の支給を受けるときに、それぞれの税金が源泉徴収されます。

この退職金は、長い間の勤労の対価であり、また、退職後の生活のためにも大切なものですから、他の所得よりも軽い負担で済むように配慮されています。

退職金の額から退職所得控除額を差し引いた残額の二分の一が退職所得の金額です。この退職所得の金額に、所得税の税率をかけたものが所得税額、住民税の税率をかけたものが住民税となります。

退職金の額から退職所得控除額を差し引いた残額の二分の一が退職所得の金額です。この退職所得の金額に、所得税の税率をかけたものが所得税額、住民税の税率をかけたものが住民税となります。

退職金や年金と税
 退職所得控除額
 通常の退職所得控除額は、退職した方の勤続年数に応じて次のようになっています。

勤続年数	控除額
10年以下	40万円
10年以上	80万円

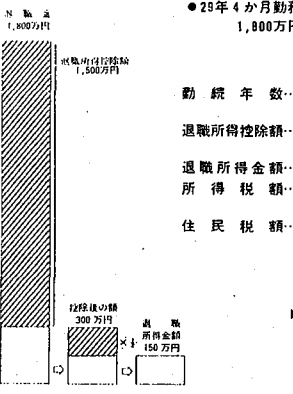
また、勤続年数が20年以上の場合、最低控除額は80万円です。

振替納税を(ご利用の方へ)
 所得税の振替納税を利用されている方は、七月三十一日にご指定の預貯金口座から通知書の金額が引き落とされますので納税額に見合う預金をご準備ください。

●29年4か月勤務された方が、1,800万円の退職金を受け取られた場合

勤続年数……29年+1年
 (1年未満の端数は切り上げる) = 30年
 退職所得控除額……800万円+70万円×(30年-20年) = 1,500万円
 退職所得金額……(1,800万円-1,500万円)×½ = 150万円
 所得税額……150万円×10% (この場合の税率) = 15万円
 住民税額……150万円×3.6% (この場合の税率) = 5.4万円 (市町村住民税)
 150万円×1.8% (この場合の税率) = 2.7万円 (府県住民税)

退職金の支給を受けるときに、「退職所得の受給に関する申告書」を勤務先に提出すれば、退職所得控除後の金額を基に所得税や住民税が算出され退職金から天引きされますので、原則として確定申告をする必要はありません。



年金と税

我が国は本格的な高齢化社会を迎えようとしており、老後の生活の支えとして年金は重要な役割を果たしています。年金には企業年金や公的年金などいろいろありますが、ここでは、このような年金にかかる税金のあらましについて説明しましょう。

年金にかかる税金

年金を受け取ったときの課税関係は、年金の種類によって次のようになります。

- ① 過去の勤務に基づき使用者であった者から受ける年金
- ② 厚生年金、国民年金などの公的年金
- ③ 適格退職年金(自己負担部分を除く)などの企業年金
- ④ 郵便年金、生命保険会社などの個人年金

① 遺族がうける年金(死亡した者の勤務に基づいて支給されるものに限る。)

② 国民年金法などによる障害基礎年金など(①については、所得税が源泉徴収されます。また、年金の支給に代えて退職一時金を受け取った場合は、退職所得や一時所得になる場合があります。)

公的年金などの各種特例

年金や恩給などが支払われる際には、原則として十パーセントの所得税が源泉徴収されますが、公的年金や恩給など一定の年金については、次のような特例が設けられています。

① 源泉徴収の特例
年金の額が年間百五十万円(六十五歳以上の方は年間百七十五万円)未満の場合には、税金はかかりません。

② 公的年金等控除
公的年金や恩給については、これらから収入金額から公的年金等控除として一定の金額を差し引くことができます。

社会にいきる税

私たちが安心して生活していくためには、治安の維持や洪水の防止など、私たちが個人や民間団体の活動だけでは賄うことができない公共サービス、公共施設を欠かすことができません。

国や地方公共団体は、これらのために住宅や道路の整備、教育や科学の振興など幅広い活動をしています。

公的年金等控除
例えば、平成元年度の総収入は、六十兆四千四百一十二億円となっており、この内訳は、租税・印紙収入(八四・四%)、公債金(一一・

●年齢が65歳以上の人で、その年中の収入が公的年金や恩給だけの場合!

公的年金等控除	1,550,000円
社会保険料控除	100,000円
高齢者控除	500,000円
配偶者控除	350,000円
配偶者特別控除	350,000円
基礎控除	350,000円
合計	3,200,000円

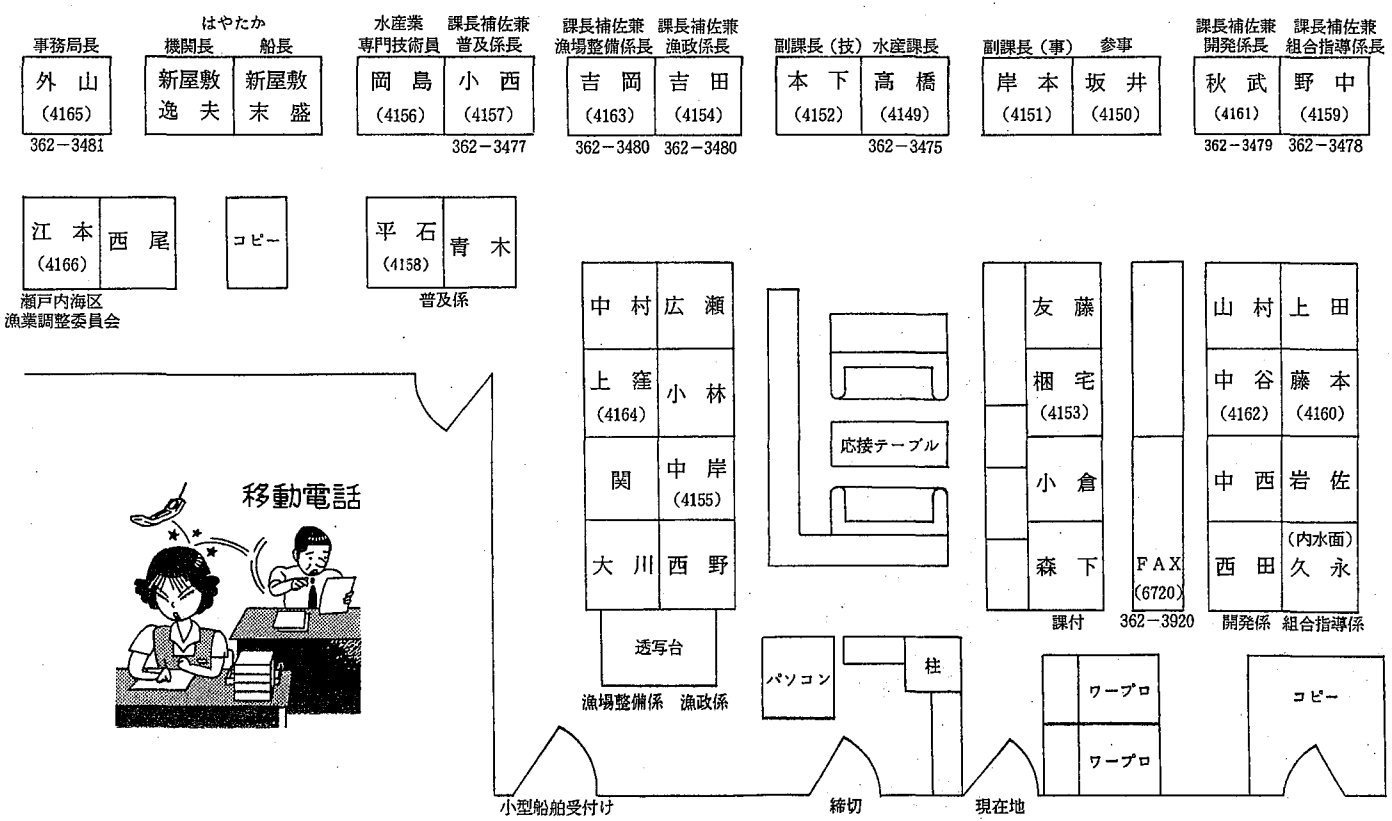
その収入金額の合計が320万円以下であれば、

所得税はかかりません。

(注) 上記の計算は配偶者控除(年齢70歳未満)及び配偶者特別控除の金額が受けられ、かつ、社会保険料を年間100,000円支払ったものとして計算しています。



県水産課職員配置図(平成2年6月16日現在)



瀬戸内海区漁業調整委員会 事務局	普及係	漁業整備係	漁政係	課付	開発係	組合指導係
1. 委員会に関すること	1. 水産業改良普及 2. 養殖振興対策 3. 漁業後継者育成・漁協婦人部育成 4. 観光漁業 5. 水産災害情報収集・統計 6. 水産資源保護	1. 沿岸漁場整備開発 2. 小規模保全事業 3. 保護水面の管理	1. 水産振興企画立案・施策調査に関すること 2. 漁場計画立案漁業免許登録 3. 漁船法・小型船舶 4. 漁業許可・漁業紛争調停 5. 内水面漁業 6. 漁業取締り 7. 遊漁船業の適正化に関すること	1. 農林水産事務課との連絡 2. 文書に関すること 3. 水産課事務の総括 4. 水産試験場及び但馬水産事務所に関すること 5. 公印の官守 6. 他の係に属さない事務	1. 水産国際交流 2. 水産新分野の企画立案 3. 海洋開発と漁業の調整 4. 栽培漁業、水産資源増殖管理対策 5. マリノベーション構想の推進	1. 水産業協同組合の指導・監督に関すること 2. 水産金融に関すること 3. 漁業共済に関すること 4. 水産物の流通・加工に関すること

6月17日放送
(第664回)
～兵庫県最北東の
小さな入江～
田結

サンテレビの 「こちら海です」 ロケだより

豊岡盆地を潤し流れる。肥沃な大地の母なる川。田山川。土地の人は、但馬のナイルとも呼んでいます。田山川川口辺りには、豊岡市に合併される三十年前まで城崎郡港村と言っていました。今も、その名残りで、田山川をはさみ西の津山、瀬西、小島を港の西、港西、東の気比、田結、三原、畑上を港東と呼んでいます。一番東の田結は、峠を越すと京都府という兵庫県最北東にあたる小さな入江です。田山川によって二分されていた海地区。かつて川に懸ける橋は、東側の人々の長い間の願いでした。豊岡へ出るのも渡し船。冬の雪の降る日等……それは大変だったと寒かった思い出しかない。と言ったのは、昭和十九年、その橋が昭和二十六年、第二室戸台風で流され

通称永久橋と呼ばれる港大橋が完成したのは昭和四十二年のことです。田結は、昔から田畑に恵まれていたことから半農半漁で暮らしてきただけです。現在、戸数は六十三戸、漁師さんはわずか六人。それも平均年齢六十才というベテランばかりです。漁は一年を通してのアワビ、サザエ等の貝類やワカメ、天草等の採集が主体です。初夏の風がかけぬけるころ、天然ワカメの最盛期。ワカメ採りの四月七、八日頃解禁で六月終わりに頃まで。浜に白旗を立てられると今日はワカメ切りに出ると言う中、赤旗が出ると言うのは、朝七時に港を出て沖に舞うワカメ切りの、朝十一時と決められています。取材の日には、波もなく本当に良い天気でした。七時、カンク船と言う小さな船が思ひ思いに港を出て行き

ました。ワカメを切る道具は、幅二センチほどの三ヶ月型の鎌。右手にこの鎌を先に、口に水細い竹を持ち、口に水細い竹を握りながら水の中にゆれるワカメを切っていくのです。ワカメ切りの場所は、田山川の東側、神水岬をかわして京都府との境まで、十一時を過ぎる頃、ワカメで一杯のカンク船が次々と浜辺へ帰って来ます。採れたワカメを天日干しし、自然乾燥させたあと、袋詰にして市場へ出荷の準備。津居山港では、二回市が立ちます。底曳きを中心とした朝市と、磯物を中心とした晩の市。袋詰されたワカメは、晩市に出されます。ワカメの時期は、朝から晩まで、一家総出の忙しさが続き、手を休める暇がありません。また、トコロンや寒天の材料となる大草、

真水と交じる田山川河口の一部にしかつかないと言われているカキノリや、ヒメズクもこの時期のもの。カキノリは、わずかな間にしか採れないので土地の人は、毎日のように佃煮にして、隣近所に配ったり、都会に出た子に送ったりと季節を楽しんでいます。ヒメズクは、サツと湯がいて酢の物に。普通のモズクとひと味ちがってコロコロと歯ごたえがあり、なかなかのもんです。子どもたちの通う豊岡市立港東小学校は、歩いて五分ほど、隣の気比にある海辺の小学校です。気比は、気比川の中流の、由緒ある気比神社あたりから弥生土器が出土したと言われているから開けた土地。又、大正元年、小学校の改築工事の石材を求めて作業中、わし崎という以前石切場だった所から、四個の銅鐸

が同時に出土、静かな村は大変な騒ぎだったと記録に残っています。その銅鐸の様子の一つが、大阪府茨木市の東奈良と一致。大和と但馬の密接な関係がうかがわれる貴重な資料とされています。田結には、但馬最大規模と言われる風谷古墳が残っており、昔のこの辺りに住む豪族たちの力が今だ感じさせられます。現在も「和合しなれば浦は発展しない」と……。田結の人々が何かにつけてお参りする八坂神社には、願をかけて千回参る御千度が伝えられています。但馬に唯一という春日曼荼羅が伝えられる西光寺。昔ききき伝統の中に暮らした小さな入江・田結。初夏の風は、磯の香り一杯でした。

兵庫JCC通信 今、農協・生協では

兵庫県農協中央会
有機農業全国農協交流集
集開く
有機農業の技術的到達点を確立し将来展望をさぐるべく、全国農協中央会が主催する有機農業全国農協交流集が六月二十日、二十一日の二日間、水上郡の市島町市民センターで開催されました。阪神間の満員バス

と十五年にわたり有機農産物の産直に取り組んできた市島町有機農業研究会の平田義一さんは「これまでの取り組みから、田畑輪換と輪作を基本とする完全無農薬・有機栽培技術がほぼ確立した」と報告。また、「食品公害を追求し安全な食べ物を求める会」の信長たか子さんは「産消

提携は単なるモノの取引でなく、生産者と消費者の顔が互いに見え、双方が命のあすけ合いのできる関係を大切にすべきだ」と強調しました。全国農協中央会は今年四月に「安全で良質な食料・農産物の供給の系統農協の対応力について」と題する有機農業への農協の取り組み方針案をまとめ、今後各段階で組織討議をすすめることにしています。安全で、環境と調和

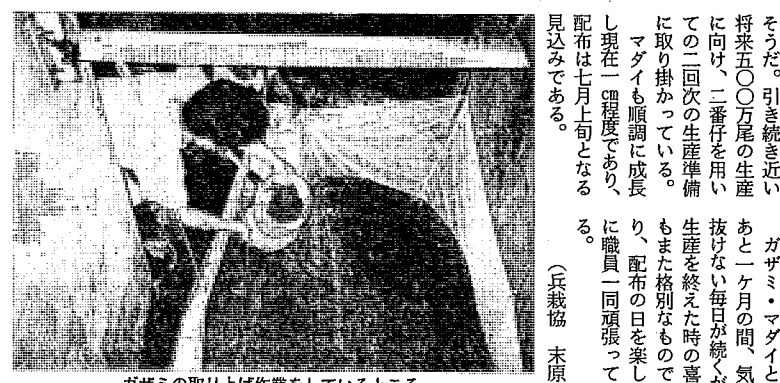
できる有機農業は、これからの日本農業を考える上で農協としても積極的に取り組むべき課題と考えています。瀬神戸生協
通常総代会を開催
六月二日、神戸文化大ホールで開かれた第七十期通常総代会では、一九八九年度の剰余金処分案及び一九九〇年度の事業計画案など七議案がすべて可決・承認されました。あいさつに立った高村勤理事長は「瀬神戸生協は来年には七十周年

を迎え、今年度には百万人の組合員組織と重ね、これからは生活重視・消費者優先の社会構造に変えていかなければならない。環境問題、昨年来の内外の大きな変化に対応して、二十一世紀に向けて生協の運動と事業を守り、社会的役割を果たしていかなければならない」と述べました。可決された九〇年度の基本方針は「心豊かなくらしと地域社会の創造」をテーマに①心豊かな地域社会づくり



栽培漁業センターです

平成二年度のヒラメ
種苗生産事業が無事終了した。
ヒラメは五月一八日(二十九日)に五万二千尾の種苗を配布することが出来た。
今年から新たに紫外線照射装置を導入して種苗海水の殺菌に効果的であり、餌であるワムシにビタミンA D E を添加して栄養価を高めたところ、今年には病気の発生もなく成長も順調で、白化個体も減少させることが出来た。
現在も「和合しなれば浦は発展しない」と……。田結の人々が何かにつけてお参りする八坂神社には、願をかけて千回参る御千度が伝えられています。但馬に唯一という春日曼荼羅が伝えられる西光寺。昔ききき伝統の中に暮らした小さな入江・田結。初夏の風は、磯の香り一杯でした。



ガザミの取り上げ作業をしているところ

油、塩、ワカメ、海藻、わかしの海を汚すのは

なわげんせい

瀬戸内海を美しく

瀬戸内海漁業環境保全対策連絡会がボスターを作成

●瀬戸内海漁業環境保全対策連絡会 ●財団法人漁業油濁被害救済基金 ●漁協 ●漁連 ●全漁連